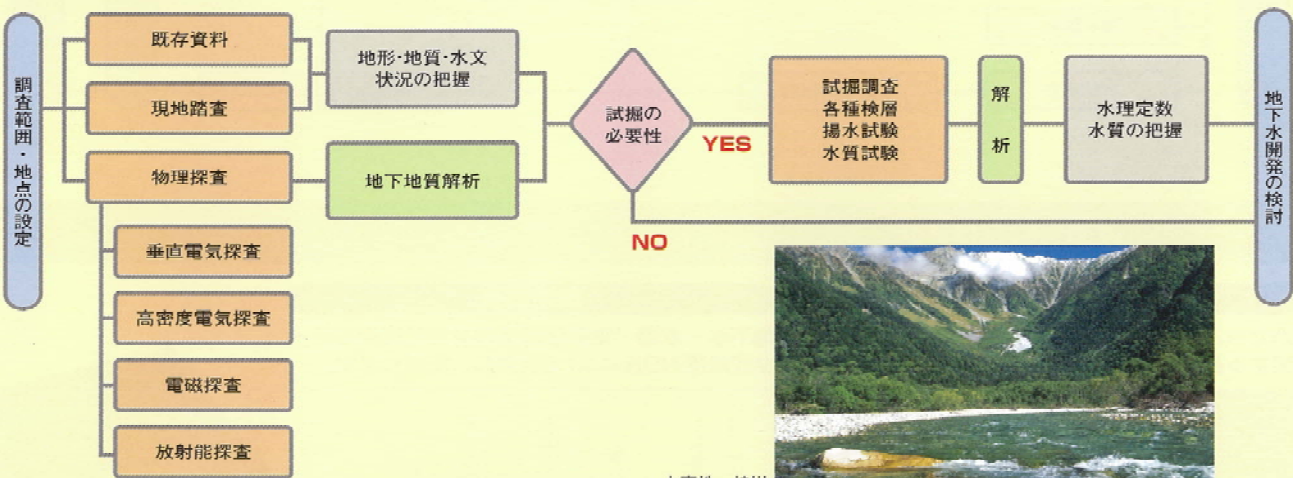


地下水 調査・開発と保全

持続可能な水資源の開発と地下水環境の保全を目指して

地下水開発調査では、豊富な経験と最新の探査技術を駆使し、水源井戸の掘削地点や深度の選定を行います。また、試掘調査では、電気検層・ガンマ線検層をはじめとする各種検層により有望な帯水層を確認し、必要水量の確保につとめます。

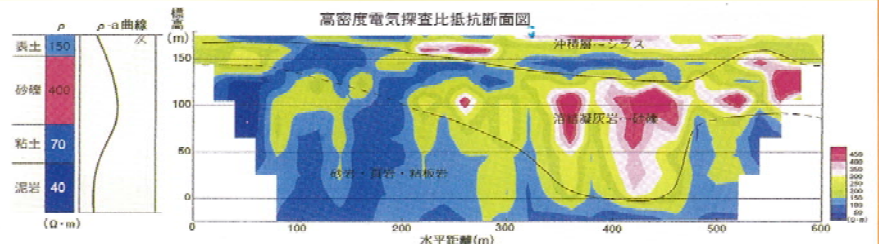
調査のフロー



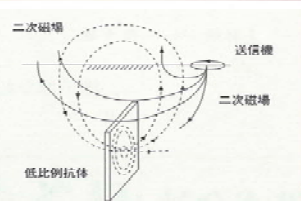
調査の例

垂直電気探査はもとより、地下を断面二次元で表現できる高密度電気探査を用いて帯水層をはじめとする地下の状況を把握します。また、電磁探査（TEM法水平ループ法）や放射能探査（核比最小変化率法）により、岩盤地帯での地下水調査も行っています。

高密度電気探査



電磁探査(水平ループ)



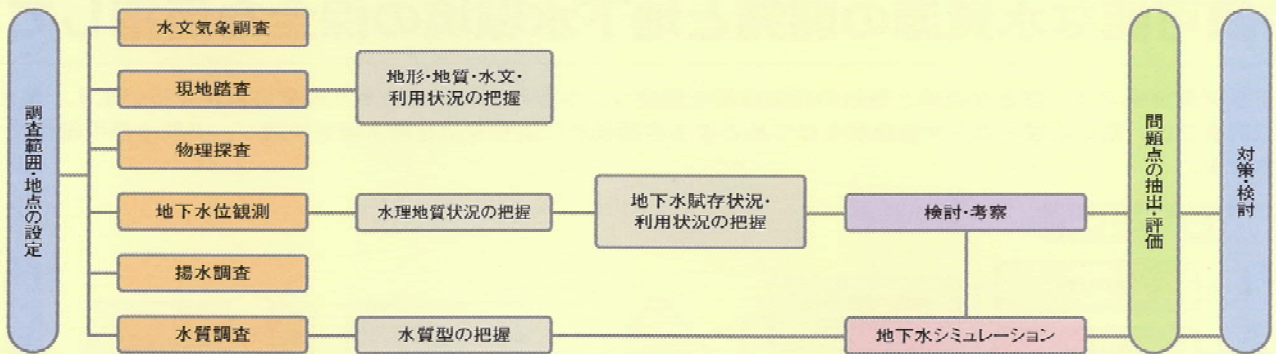
放射能探査



限りある水資源維持のために

地下水保全調査では、地下水・水質・湧水量の計測を通じ、地下水環境を把握します。これらのデータに基づき地下水の賦存状況・涵養状況・利用計画を検討し、地下水環境の保全に関しての提案を行います。

調査のフロー



主な調査・解析の内容

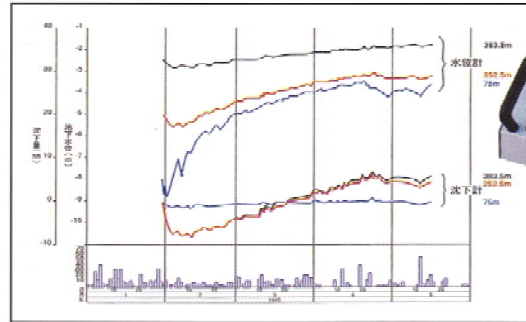
各種計測

現地では、既存井戸や観測井を使用し、地下水に関する各種のデータを収集します。



現地調査

地下水・水温・電気伝導率等を自社開発のデータ収録器 NDR-4JC で計測し、記録します。



測定例

地下水シミュレーション

検討考察段階で、必要に応じて地下水シミュレーションを行います。

